

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 福田 香織

研修会名

三重県地方創生 事業推進勉強会 ～地方創生とふるさと納税～

日 時

10月 6日 13時 00分～

場 所

三重県総合文化センター レセプションルーム

【研修の成果】

1. 内閣府が示す 地方創生の動向と地方への支援について

I まち・ひと・しごと創生基本方針 2017

2014：地方創生のスタートアップ→2015：地方の体制整備→2016：地方創生の本格稼働→2017：地方創生の新展開 ホップステップジャンプ！ 2017年はジャンプの年

〈主なポイント〉ローカルアベノミクスの一層の推進、東京一極集中の是正、東京圏における医療・介護問題・少子化問題への対応、地方創生の更なる深化に向けた政策の推進

- ・「自助の精神」を持って意欲的に取組む自治体を積極的に支援
- ・空き店舗、遊休農地、古民家等遊休資産の活用・地方生活の魅力を発信

II 地方への支援について

情報支援の矢・人材支援の矢・財政支援の矢 「地方創生版・三本の矢」

平成 29 年度地方創生関連予算：地方創生推進交付金 1,000 億円(事業費ベース 2,000 億円)

→予算額も年々上がっている⇒伊賀市はシティプロモーション事業、IGAMONO 育成推進事業に取組んでいるが、有効に使えているか？もっと上手く乗っかっている自治体もあるのでは？事業タイプの中で、先駆者タイプ①官民協働②地域間連携③政策間連携のいずれの先駆的要素も含まれている事業 →ここに国はお金を出す⇒オリジナル事業を目指す

2. 総務省が示す 地域力の創造・地方の再生について

チャレンジ・ふるさとワーク (予算 27.8 億円)

その中の、「お試しサテライトオフィス」に注目

都市部のベンチャー企業等を自然に囲まれた豊かな職住環境をお試し的に誘致するという事業。

11 月末に、一般社団法人大山田温泉福祉公社から「さるびの温泉」の存続・維持修繕のための財源確保の要望書、しまがはら郷づくり公社からも「やぶっちゃんの湯」の設備の整備と、高ヶ原地域主体の団体による経営の存続について要望書が出されたが、国の補助金を活用して「さるびの温泉」と「やぶっちゃんの湯」を温泉施設と併設のサテライトオフィスとして誘致し、自立していけるように導けないか。

入浴施設十何かで、経営を存続していくことが、地域振興には必要だと思う。

国からの補助率は 1/2 のため、どのようなメニューに乗るか吟味しなければならないし、思い切った負担をしなければならないかもしれないが、この地方創生の波に乗って、地域を活性化すべきだと考える。

それには、勿論下準備が必要。都市部の企業からの打診を待っていても来ないので、東京の会社とのマッチングが重要。

サテライトオフィスの実施団体の例を見ても、「都市部の既存のネットワークを使って」「市が設

等かのネットワークを使って、マッチングがなされている。

例えば、大地震が来た際に、津波の心配がある海岸地域の都市と協定を結んで、そのネットワークを使って企業誘致を図る。あるいは、伊賀出身者、伊賀に縁がある人たちの集まりがあれば、そこと連携していく。様々なネットワークの構築は、まだ遅くないと考える。今あるネットワークと、更に今後も移住者を増やしていくためには、新たな首都圏とのネットワーク作りが大変重要になる。

3.国交省が示す地域の魅力・活力の向上、景観を活かしたまちづくりの推進の地方創生予算で、
空き家再生等推進事業

空家再生推進事業のメニューを使って、中心市街地の町屋を再生できないか。

町屋に手を入れるには、既に遅すぎるようにも思うが、今もうぎりぎり。おそらく新築よりも改修費のほうが高く付くし、一軒だけ再生出来ても、街並みに変化が生まれないので、少なくとも数件再生させるとなると、多額の予算が必要となる。

しかし町屋を再生し、宿泊施設として生まれ変われば、やってみたいと手を上げる若い人が出てくると思う。また、民泊という手もある。

観光客が南庁舎地を出発点にして、街歩きをするにしても、町屋が並ぶ城下町らしい趣のある通りを散策出来れば、楽しいものになるはず。

旅行会社など民間を巻き込んでの町屋再生の計画を立てるべき。

今までも、地方創生関連補助金を使って、様々な事業を行い、一定効果が上がっていることは承知しているが、国は地方での成功例の一つでも多く作りたいたいと考えているし、特に先進的な取組みには支援をしていく方針。

国からの交付金・補助金をうまく活用した地方創生事業を今後も推進していくべきだと思います。地方創生について、12月議会で取り上げました。

費用	旅費：3,293 円	研修参加費：	円	合計：3,293 円
----	------------	--------	---	------------



YAHOO! 地図
JAPAN

出発地 三重県伊賀市上野丸之内

目的地 三重県津市一身田上津部田

距離: 44.8km 時間: 57分

伊賀市役所本庁舎から三重県総合文化センター

実走行距離 (片道44.8km/往復89.6km)

旅費 往復89km (km未満切捨て) × 車賃37円 = 3,293円

